

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名：鶴岡市三瀬地区自治会

上位関連計画にみる地域の将来
 ○パリ協定における日本の目標：2013年度比で2030年までに26%削減、さらに2050年までに80%削減
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質GDP）35%減。
 ○現在の人口：126,195人、将来：105,651人（2030年）、89,191人（2040年）（日本の地域別将来推計人口（平成30年推計））
 ○地域の総合計画に示された将来目標 【人口】現状：126,195人→目標：105,000人（2030年）
 ○地域の環境分野の上位計画の将来目標 【エネルギー自給率】現状：29.4%→目標：34.0%（2028年）

②具体的な取組
【自然エネルギー活用地域協議会（仮）】
 ・地域内でのエネルギーの自給自足を推進。取り組むにあたり地域間協議会を作り、情報共有。主に自治組織が担い手。
 ・地域内から出る自然エネルギーを使う出口の確保。特に公共施設で積極的な利用を促進するとともに一般家庭も啓発。
【自然体験事業者プラットフォーム（仮）】
 ・地域の自然資源、文化資源を活用し交流人口・関係人口を増加。都心部からの資金的資本を循環させる。
 ・自然文化を活用する担い手のクオリティや提供価格等を平準化する組織を作る。ある程度一元的な誘客を図る。

①ありたい未来
 みんなが元気を生み出し発信するまち
 ・地域を学びその魅力をPRしファンや移住者を増やす！
 ・イベントに参加し、人と人のつながりを深める！
 ・健康管理に努め、健康になる！
 みんなでつくる安心なまち
 ・思いやりの心をもってまわりに目をくばり生活の安全・安心を確保する！
 ・防災訓練に参加するとともに避難用品を備えて防災意識を高める！
 ・自主防災組織や消防団の連携、持続可能な仕組みを考える！
 みんな支え合う住みよいまち
 ・つながりを大切に助け合える機能を見直し地域ぐるみで支え合う！
 ・空き家の活用に協力する！
 ・生活ニーズに対応すべくコミュニティビジネス等の取り組みを検討する！

③短期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 (2021年度末) | 実績値 (2021年度末) | 単位 |
|----|-----------------|---------------|-----|------------------|------------------|----|
| 環境 | 【三瀬】薪ストーブ導入件数 | 薪ストーブ導入件数 | 38 | 40 | 38 | 件 |
| | 自然エネルギー活用地域協議会 | 設立 | 0 | 1 | 1 | 件 |
| | 自然エネルギー事業者との連携 | 事業者会議出席回数 | 0 | 4 | 4 | 回 |
| | | | | | | |
| 経済 | 【三瀬】化石燃料域外流出 | 石油、重油の流出額 | 1.1 | 1.0 | 1.1 | 億円 |
| | 自然体験事業者プラットフォーム | 設立 | 0 | 1 | 1 | 件 |
| | モニターツアーの実施 | 回数 | 0 | 2 | 1 | 回 |
| | | | | | | |
| 社会 | 事業と社会のかかわりの発信 | 説明会、講演、授業等の実施 | 4 | 3 | 2 | 回 |
| | 事業と社会のかかわりの発信 | マスコミでの発信 | 2 | 3 | 3 | 回 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

④長期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 (2021年度末) | 目標年度 2030-2050年度 | 目標値 | 単位 |
|----|-----------------|-----------|-------|------------------|---------------------|-------|----|
| 環境 | 【三瀬】薪ストーブ導入件数 | 薪ストーブ導入件数 | 38 | 40 | 2,030 | 100 | 件 |
| | 自然エネルギー活用地域協議会 | 参加団体数 | 4 | 6 | 2,025 | 20 | 団体 |
| | エネルギー自給率 | エネルギー自給率 | 29.4 | 29.5 | 2,028 | 34.0 | % |
| | 化石燃料流出額 | 化石燃料流出額 | 186 | 180 | 2,028 | 140 | 億円 |
| 経済 | 【三瀬】化石燃料域外流出 | 石油、重油の流出額 | 1.1 | 1.0 | 2,030 | 0.7 | 億円 |
| | 自然体験事業者プラットフォーム | 参加団体数 | 2 | 5 | 2,025 | 15 | 団体 |
| | 観光客入れ込み数 | 観光客入れ込み数 | 637 | 700 | 2,028 | 790 | 万人 |
| | 民間消費流入 | 民間消費流入額 | 26 | 30 | 2,028 | 40 | 億円 |
| 社会 | 【三瀬】人口維持 | 人口 | 1,280 | 1,350 | 2,030 | 1,200 | 人 |
| | 【三瀬】移住件数 | 移住件数 | 2 | 5 | 2,030 | 7 | 件 |
| | 市施策による移住件数 | 移住件数 | 39 | 42 | 2,028 | 55 | 件 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

環境と経済が絡まった「エネルギーの自給自足」「自然体験事業の活性化」は現在「点」の動きである。この動きを地域循環共生圏プラットフォーム事業で仲間を増やし面にし、持続可能な事業にしていく。
 持続可能なエネルギーの獲得と、自然体験事業により交流人口・関係人口を獲得し移住にもつなげることで、地域の未来を担う担い手の確保につながり、防災や地域公共交通、買い物等の持続可能な地域インフラの獲得・維持につなげていく。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください